



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 宮島喜文
 編集責任者 坂西 清
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

1 P : 会長年頭所感 2 P : 厚生労働科学研究費補助金 3 P : 利益相反委員会 4 P : 支部学会

新年あけましておめでとうございます

平成 25 年 元旦

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島喜文



2013 年 新春を迎え、会員の皆様に心からお慶び申し上げます。
 昨年は、東日本大震災の復興の始まり歳でありました。また、福島原発事故などを教訓に、日本のエネルギー政策や環境などの見直しが余儀なくされ、日本人として新たな価値観を模索する歳でもありました。更に、領土問題や低迷する日本経済の下で、日本の将来には活路が見いだせない状況にありましたが、ロンドン五輪での日本人選手の活躍や山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞の受賞は国民に希望を与えてくれました。

そして、師走の衆議院選挙において、民主党が大敗し、自民党政権が誕生しました。安倍内閣では経済再生を最優先として取り組み、デフレからの脱却、景気浮揚などの政策に多くの国民は期待しています。一方、かつて小泉政権下で規制緩和と財政再建を謳い、非正規労働者を増大させ、診療報酬を引き下げた財政諮問会議が復活するなど今後の政治状況には目を離せません。

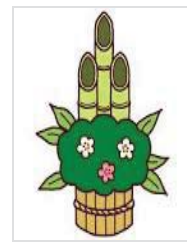
さて、今年は“未来を拓く日臨技”を実現するために立ち上げた未来構想策定やチーム医療推進、学術組織再構築、渉法問題対策など各種諮問委員会の答申を踏まえ、検査説明のできる技師の養成など新規事業を全国展開してまいります。

また、学術活動については、日本医学検査学会や各支部学会を主催するとともに、関連学会と連携を密にし、合同企画なども設けて参りたいと思います。加えて、昨年日本に招致した3年後のIFBLS学会開催に向けて準備を進めるとともに、私たちが持っている知的財産を諸外国に対して発信する取り組みも始めていきたいと考えています。

さらに、これからの医療における臨床検査の発展や臨床検査技師の社会的地位の向上は、本会だけの運動で実現が図れるものではありません。日本臨床検査医学会や日本臨床検査専門医会を始め、臨床検査に関係する諸学会・医療団体の協力と支援があってこそ道が開かれ、一步一步進められるものだと思います。

常に“対話と融和”を基本に透明性の高い会務運営を図り、臨床検査業界を中心とする関係団体との連携を深め、学術活動の振興、業務拡大、社会的地位の向上を図り、国民の健康増進に寄与していきたいと考えております。

本年も昨年同様に温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)を申請

日臨技では検査値標準化委員会が進めている標準化事業の中の“医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保証する精度管理調査試料の作製と活用”を平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）に申請いたしました。

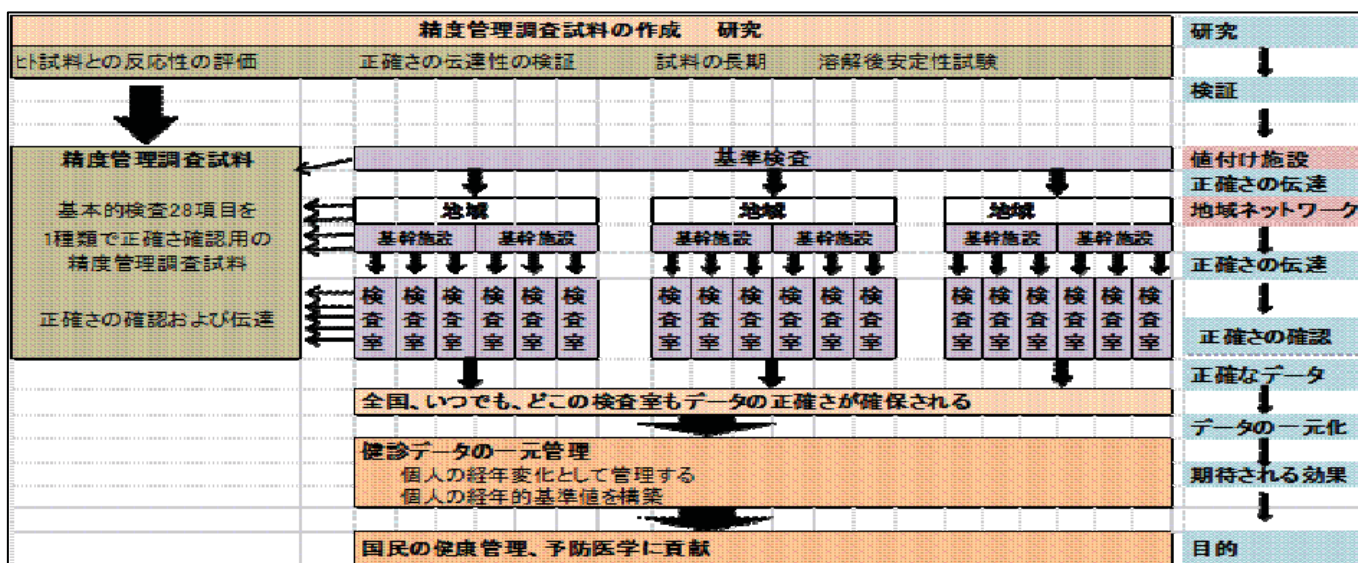
【申請事業の概要】

精度管理調査において参加全施設の「データの正確さ」を確認するためには、ヒト試料と反応性が一致する管理試料作製が課題でありました。検査値標準化委員会では、この問題を解消するために多項目実用管理試料（1 種類の管理試料で 20 数項目の検査データの正確さを確認できる）の作製を事業の目標にしています。この試料が作成されますと、ドライケミストリ法や LDL-C の試薬に関係せずどの施設も正確さが確認できることとなります。本研究は 3 年計画で進め、初年度は検査技術水準の調査及び是正に用いる精度管理調査試料の作製とその有効性を評価します。次年度は、正確さ評価試料を用い全国の医療機関の技術水準を評価しまたその是正処置を講じます。最終年度は、信頼性が保証された検査値提供の全国普及を図ります。健診結果の一元管理を可能にする技術的基盤の整備は、全国の受診者における個人ごとの生涯にわたる検査値の有効活用に繋がり、特定健診・特定保健指導の効率化また医療費適正効果に貢献します。また、疾病の早期診断、予防医学のための大規模なデータベースの構築、効果的エビデンスの提供が可能となり、国民の健康管理、疾病予防の基盤となります。

【日臨技事業として申請する意義】

日臨技としては、このような国の研究事業を申請することは初めてですが、上記事業が国民の健康管理、疾病予防の基盤作りに貢献するものであることを広く社会に認知してもらいたいこともあり、研究費を取得することだけが目的ではありません。このような地道な取り組みで、国民の健康管理・疾病予防のための基礎づくりとしての必要性を厚生労働省にも明確に伝え、理解していただけるように強く願っているところです。

研究の目的、方法及び期待される効果の流れを図示します。（下図）



臨床検査部門管理者研修会のお知らせ

【生涯教育研修過程：専門教科 20 点】

テーマ ～臨床検査部門の管理・運営のための指導者の役割と指導ポイント～

日時 平成 25 年 2 月 2 日(土)

場所 和歌山ビッグ愛 大ホール 〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2

受講料 会員・無料（但し資料代 3,000 円程度）、非会員・13,000 円（資料代を含む）

締切 平成 25 年 1 月 18 日(金)

※詳しくは、[医学検査 \(2012 Vol.61.No.6\) p.71・p.72](#) をご覧下さい

日臨技に利益相反委員会が設置されました

平成 25 年度の厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）を申請するに当たり、「厚生労働科学研究費における利益相反の管理に関する指針」に基づいて、日臨技内に利益相反委員会を設置しました。

利益相反委員会では、厚生労働科学研究など、公的研究における利益相反を適正に評価し、研究に求められる公正性と第三者への透明性について判断します。

日本医師会をはじめとする多くの学会ではすでに委員会を立ち上げて審査を行っており、演題発表の時に、企業等からの報酬など利益相反の有無について公表を義務付けている学会もあります。医学検査学会においても、機器や試薬などを使う研究発表が盛んに行われおり、企業との関わりが多い当会でも、運用規定を年度内に作成し、会員の皆さまに公開する予定です。

利益相反委員会名簿

委員長：宮島 喜文	一般社団法人	日本臨床衛生検査技師会
委員：上原 昭浩	一般社団法人	日本臨床衛生検査技師会
萩原三千男	一般社団法人	日本臨床衛生検査技師会
近藤 義彦	一般社団法人	日本臨床検査薬協会
箕輪 正和	社団法人	日本衛生検査所協会

※補足：臨床検査データ標準化が 公明党政策集（policy 2012）に明記されました。

<http://www.komeito.com/campaign/nipponsaiken/manifesto/policy2012.php?page=r>
記 URL のホームページで“標準化”と検索すると、

厚生労働 - 負担軽減で安心を。充実の医療制度 - 健診制度の充実と健康づくり

特定健診・保健指導の根幹を成す臨床検査データの信頼性を確保するため、いつでもどこでも同じ数値が得られるよう、精度管理の向上を図るとともに、臨床検査データの標準化を進めます。

と掲載されているのが確認できます。

宮島会長が昨年の夏に公明党の江田議員と面談した際にお問い合わせしていた経緯があり、その後、小沼連盟委員長を始め連盟役員の方々の御尽力により公約集への掲載が実現しました。個人の議員の約束ではなく、党としての公約にできたことは大きな前進です。このように、標準化事業が政党の政策に掲げられ、本事業の科研費申請を後押しするものと意を強くするものです。

本年もよろしくお願いいたします — 役員一同 —



九州支部学会開催される

平成 24 年度 日臨技九州支部医学検査学会（第 47 回）を終えて
 テーマ：『天孫降臨』～神話の国「宮崎」に集い極めよ～

九州支部長 佐藤 元恭
 学会長 津曲 洋明

平成 24 年 11 月 17 日（土）と 18 日（日）の 2 日間、宮崎市宮崎観光ホテルにおいて、地区として第 47 回、支部としては第 1 回の学会を開催いたしました。

本学会は一般演題 117 題、特別講演 1 題、教育講演 2 題、シンポジウム 5 題、ワークショップ 1 題、ハンズオンセミナー 1 題等を含め、初心者から熟練者までの会員を対象として最新の話題等、総数 26 の多彩な企画を準備して執り行いました。2 日間で 1,062 名の参加をいただき、懇親会も 350 名の参加があり、盛会の裡に終了できました。

特筆すべき事項として、今年は古事記編纂後 1300 年の年で学会テーマとマッチングさせた石黒 耀先生の特別講演「神々の医学と災害」～過去に学び進歩する医療～の特別講演と東日本大地震等の大規模災害を経験し、今後もさらにニーズの高まる「大規模災害対策と臨床検査の対応」の 2 企画を公益事業としての公開講演と位置づけ、マスコミを介しての広報と取材にも対応し、臨床検査技師の知名度アップにも尽力して実施いたしました。

また、協賛メーカー出展の全面的なご協力もいただき、同ホテル 3 階学会メイン会場横の展示ゾーンで、54 社（71 小間）の協賛メーカーによる展示発表も大勢の会員で混雑するほど盛況に開催できました。本学会の開催にあたり日臨技会長、九州各県役員や会員の皆様と宮崎県、宮崎市及び県医師会及び市郡医師会や協賛各社の全面的なご支援に心より御礼申し上げます。

九州支部学会はこれからも臨床検査技師として支部会員の成果発表の場であり、また今後の更なる発展のためのスキルアップや人材育成の場として、これまでの伝統を引き継ぎながら未来永劫に若き会員へ引き継がれていくことを主催者として祈念し、支部学会の報告といたします。
 【津曲 洋明】



平成 25 年度 会費納入手続きのお願い

会員の皆様には、ますますご健勝のことと存じます

さて、ご承知のとおり、当会の会費は規定により前納制となっております
 平成 25 年度会費はご登録いただいた口座から 平成 25 年 2 月 27 日（水）に引き落としします
 まだ口座をご登録されていない方には、2 月中旬にコンビニ払込用紙を送付いたします

詳細は当会ホームページをご覧ください

お近くに未入会の方がいらっしゃいましたら、一人でも多くの技師が入会されるよう
 お勧めくださることを併せてお願いいたします

（編集後記）

新年を迎え、小寒（1 月 5 日）、大寒（1 月 20 日）とまだまだ寒さも続きますが、冬至も過ぎ、昼の時間が少しづつですが伸びて、「春が近づいている」と思うようにしている今日この頃です。

また、近くの和菓子屋さんの店頭では春の童謡・唱歌が流れ、季節を感じさせてくれます。

24 節気と体感ではではひと月ちよっとの差があるようですが、いよいよ、立春（2 月 4 日）、雨水（2 月 18 日）と春を迎えます。

【I.N】

